

## 複々線化 事業の概要

当社では、輸送需要に対応するため、列車の増発や長編成化をはじめとする輸送力の増強に努めてものの、従来の複線設備では輸送力に限界があるため、朝のラッシュピーク時間帯においては、弊害を抱えたままとなっていました。  
このような現状を抜本的に改善し、快適な輸送サービスを実現するため、上下線を各2本ずつ実施しています。

## 1 複々線完成による効果

複々線完成により、朝のラッシュピーク時間帯に列車の増発が可能となり、混雑が緩和されるほか、各駅停車と急行などの優等列車が別々の線路を走ることにより、所要時間が短縮されます。

### 複々線完成による ラッシュピーク時間帯における 輸送改善『3本の柱』

- 混雑緩和による快適な輸送環境の提供
- 所要時間短縮による都心方面へのアクセス向上
- 千代田線直通列車増発による都心中心部への利便性拡大

#### ●列車増発による混雑緩和

ラッシュ時間帯の最混雑区間  
(世田谷代田駅→下北沢駅)における変化

ピーク1時間あたり、

現行  
27本

完成後  
36本

混雑緩和のイメージ(混雑率)  
2015年度時点



体が触れ合い  
やや圧迫感がある

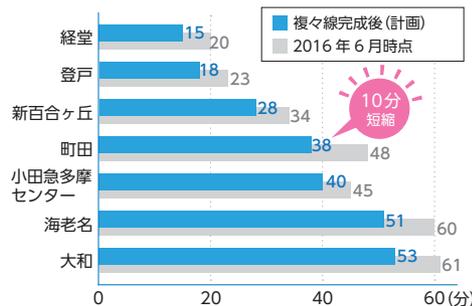
完成後



新聞・雑誌を楽な姿勢  
で読むことができる

#### ●主な駅から新宿までの所要時間の変化

平日の8:30頃新宿に到着する列車



#### ●千代田線直通列車を増発

ピーク1時間あたり、

現行  
5本

完成後  
12本

※新宿方面へは、現行22本→完成後24本

## 複々線完成による増収効果

2020年度、当社鉄道事業における旅客運輸収入において

**50億円程度増収**

を目指します

(2015年度比較)



まいりました。こうした輸送力増強策によって混雑率は若干緩和された過密ダイヤによる所要時間の増大や、混雑率が200%を超えるといった

計4本の線路にする『複々線化事業』を東北沢～和泉多摩川間(10.4km)で

## 2 特急ロマンスカーにおける輸送改善

### 2018年3月(予定)のダイヤ改正による改善

#### ●通勤時間帯における特急ロマンスカーの増発

【平日 朝方ラッシュ時間帯における増発】



【平日 夜間時間帯における増発】



#### ●箱根観光輸送の強化

【新型特急ロマンスカーを製造】

展望車両のある**新型特急ロマンスカー・70000形**が営業運転を開始

【わかりやすい時間に展望車両を運行】

人気の高い**土休日の午前中**に新宿を発車する「スーパーはこね号(新宿～小田原間ノンストップ)」は毎時00分に運行

**9:00発、10:00発、11:00発(新型、VSE)**

【所要時間の短縮】

新宿～箱根湯本間の特急ロマンスカーの所要時間を最速80分台→**70分台に短縮**

### 特急車両のリニューアル・新造による改善

#### ●特急ロマンスカー・EXE(30000形)のリニューアル



特急ロマンスカー・EXEα の概要

- 編成定員：578名(全席指定)
- 投資額：約13億円(最初の1編成分)
- 営業運転開始：2017年3月

#### ●新型特急ロマンスカー・70000形の製造



【コンセプト】  
箱根につづく<sup>とき</sup>時間を  
優雅に走るロマンスカー

新型特急ロマンスカー・70000形の概要

- 製造両数：2編成計14両
- 編成定員：400名(全席指定)
- 投資額：約40億円(2編成合計)
- 営業運転開始：2018年3月(予定)